

『グローバル基準に基づく事業アセット(プロジェクト・企業組織)の評価実務入門』 ASA (米国鑑定士協会) 国際資産評価士(事業評価)資格取得講座の概要とエッセンス



主催：一般社団法人日本資産評価士協会 (JaSIA)

共催：一般社団法人日本アセットマネジメント協会 (JAAM)

一般社団法人京都ビジネスリサーチセンター (KBRC)

1. セミナーの概要

活発化する中小企業の M&A、国が推進する企業価値担保制度の導入等、今わが国ではビジネスバリュエーション (BV:企業・事業価値評価) に対するニーズが急速に高まっています。また、世界的な潮流として、社会インフラ資産を始めとしたアセットマネジメントにおいても、その焦点が施設・設備の維持管理・コスト管理から、プロジェクトのリスクと機会の管理、使用される技術・ノウハウの優位性やエンジニアリング・経営能力を含む事業価値のマネジメントに移ってきています。

現状のわが国の BV は、証券アナリストが行う投資アドバイスを目的とした評価、企業会計・監査の為の評価が主で、実践的な評価実務を体系的に履修するプログラムが存在しないのが現状です。これに対して米国では、これらのニーズに加え、中小企業を対象とした ESOP(従業員持ち株制度)、相続・譲渡に係る税務の法廷闘争、株主訴訟や PPP (Public-Private-Partnership) をめぐる係争への対応等、厳しいチャレンジにも対応する評価ニーズが半数近くを占め、教育プログラムは論理性に加え、実用性と専門性、刻々と変化する環境にも対応した高度な実務教育となっています。

この入門セミナーでは、米国鑑定士協会 (ASA) がグローバル監査法人グループの職員、BV サービスを提供する中小の独立系ファイナンシャルアドバイザー向けに提供する国際資格取得の為の実務講座の概要、各種手法のエッセンス等を、事例演習や米国講師による講演・解説 (ビデオ) を交えて紹介します。

なお、この ASA の教育プログラムは、現在京都大学による履修証明プログラムの一つ、「国際資産評価士(事業価値評価)養成プログラム」(養成プログラム) として提供されており、本セミナーは養成プログラムの事前説明会を兼ねて実施されるものです。

2. セミナーの実施要領

- 日時：2025 年 8 月 17 日 (日) 9:30~16:30
- 開催方法：
 - 会場 (対面)：TKP 品川カンファレンスセンター
ミーティングルーム 10B (定員 14 名)
東京都 港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 10 階 (事務所 9 階)
 - オンライン：Zoom 会議方式 (30 名程度)
- 受講者の選定：(1) 履修認定プログラムの受講を検討したい方、(2) 京大経営管理大学院の学生、(3) 京都大学、JaSIA 及び JAAM の関係者およびその紹介者を優先いたします。
- 受講料：無料

- 受講申し込み：次の URL より参加登録してください。

<https://x.gd/88Rlw>

3. セミナーのスケジュール

I. 事業アセット評価の意義 (9:30～9:50)

講師：大庭哲治(KBRC 理事, 養成プログラム委員長, 京都大学大学院経営管理研究部/工学研究科教授)

小林潔司(JAAM 会長, 京都大学大学院経営管理研究部特任教授、京都大学名誉教授)

II. 事業アセット評価実務の概要 (9:50～16:30)

解説兼ファシリテーター：若山和夫 (JaSIA 専務代表理事)

セッション 1：事業価値評価の概要 (9:50～11:00)

- 日本の現状
- 事業価値評価の基本理論と手法
〈休憩〉

セッション 2：マーケットアプローチによる評価実務の要点 (11:15～12:30)

- マーケットアプローチの概要
- 財務諸表・財務パフォーマンス分析
- マーケットアプローチ：ガイドライン会社活用法
- マーケットアプローチ：ガイドライン取引事例活用法
〈昼食〉

セッション 3：インカム (DCF) アプローチによる評価実務の要点 (13:30～14:45)

- インカムアプローチの概要
- キャッシュフローの調整と確定
- 割引率の各種算定手法
〈休憩〉

セッション 4：アセットアプローチによる評価実務の要点 (15:00～16:30)

- アセットアプローチの概要
- 基本算定モデル：超過収益法（単一期間及び多期間超過収益方式）
- その他の算定モデル（知財、顧客基盤、のれん等）
- 養成プログラムの説明

【お問合せ】

本セミナーおよび養成プログラムに関するお問合せは次のメールアドレス宛にお願いいたします。

E-mail: bvep_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp